

令和4年度 社会教育委員 第1回定例会議の概要

1. 日時	令和4年5月20日(金) 14:00~16:30
2. 場所	市役所3階 301会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】9名出席（飯島稔委員欠席）</p> <p>【市職員】小松教育長、島田教育部長、宮坂生涯学習課長、高島生涯学習係長、宮坂社会教育指導主事、生涯学習係鎌田主事</p> <p>戸倉創造館竹内主幹 岩佐屋代公民館業務係長 近藤埴生公民館業務係長 小笠原稲荷山公民館業務係長 小林八幡公民館業務係長 宮澤戸倉公民館業務係長 西澤上山田公民館業務係長 野上更埴図書館業務係長 町田スポーツ振興課長 稲玉歴史文化財センター所長 湯井文化課長 平原人権・男女共同参画課長</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会（宮坂課長） 2 教育長あいさつ（小松教育長） 3 委嘱状交付 4 自己紹介 5 正副委員長の選出 委員長 小林京子委員 副委員長 小林いせ子委員 6 協議事項（進行：小林京子委員長） <ol style="list-style-type: none"> (1)社会教育委員の会議・活動計画について（説明：高島係長） (2)担当地域の確認並びに分担について（説明：高島係長） 担当地域は案のとおり了承。委員の分担は、北信社教委連絡協議会理事・生涯学習推進本部員は小林京子委員、部落解放・人権政策確立要求千曲市実行委員に小林いせ子委員、子ども子育て会議委員に児玉委員、北信社会教育委員連絡協議会に若林委員が選出。活動情報誌は、中島賢生委員、育成センターだよりコラムは、山崎友幸委員。 (3)社会教育関連組織・予算について（説明：高島係長） 資料3の組織、予算について説明。 (4)令和3年度所管施設等の事業実施報告について 各所管施設より説明。いずれも中止は新型コロナウイルス感染症防止のため。 生涯学習係・・・資料1・2ページ 各公民館・・・資料3~9ページ 図書館・・・資料10・11ページ 更埴図書館が災害復旧工事完了によりもとの場所に戻った。 人権男女共同参画課・・・資料12・13ページ 文化課・・・資料14・15ページ 更埴文化会館は4月3日に再開館。愛称「信州の幸 あんずホール」となった。 スポーツ振興課・・・資料17ページ 千曲市公民館運営協議会・・・資料18ページ

(5)令和3年度所管施設等の事業計画について

各所管施設より説明。資料1～15ページ

(6)指定管理者制度並びに評価について（説明：高島係長）

資料6 1～10ページについて

11～22ページについて（説明：町田スポーツ振興課長）

(7)家庭教育支援条例の取り組みについて（説明：宮坂課長）

資料7の報告書・千曲市家庭教育支援条例のパンフレットをもとに説明。

(8)成人式の名称について（説明：宮坂課長）

今年度は、信州の幸あんずホールに会場を戻して、2日に分けて行う。成人年齢が18歳になったが、千曲市では20歳の方をお祝いする。名称の候補は3つほどあるが、市としては「成人式」の名称で行い、サブタイトルを付けていく方向で考えている。

➡社会教育委員も了解

(9)その他

塚原委員より、8月22日の棚田野外見学会についてのお知らせ。できれば社会教育委員も参加したい。

5. 閉会（宮坂課長）

【主な協議・意見・要望等】

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

(4) に関する事

○小林いせ子委員

館報の編集委員をしている。館報のお知らせで市民講座の荻原博子さんの講演会について載せていたが、公民館の実施計画に載っている公民館と載っていない公民館がある。公民館はこの事業をどのようにとらえているのか。

全市をあげて、行う市民講座なので、統一したほうがわかりやすい。館報は全市民向けに出しているの、統一してください。

▲小林業務係長

学級については、戸倉上山田と更埴で少し違いがある。今年度、統一するように話し合いをしたい。

○山崎委員

10月29日図書館まつりはどんなことをやるのか。

▲野上業務係長

更埴図書館で実施する。子供向けのお話会、工作教室、本の読み聞かせに関する講演会、古書市などを行う。

○堀口委員

3つお願いがある。

・コロナで催しが中止になっている。できるだけ努力してやってほしい。

- ・子どもたちに地域学習をもっと取り入れてほしい。地域のことを知る、学ぶことをもっとやってほしい。
- ・アートまちかどに地元作家のいい作品が展示されている。しかし、会場が2階で階段だけでは、障がいのある方、高齢者は行きにくい。他の施設も車いすなどでも行きやすい形を作ってほしい。点検が遅れているのでは。アートまちかどは、地元作家の作品を展示する「千曲美術館」のようなものにならないか。

▲小松教育長

地域学習には、学校教育でも力を入れている。学校カリキュラムの中にふるさと学習を位置づける。今年はその深める。日本遺産にもなっており、子どもたちにも知らせ、学習させていく。戸倉小学校の戸倉宿キティーパークの学習からの提案により「顔出しパネル」が設置された。今年度は、治田小と更埴西中がふるさと学習の発表を予定している。

○小林いせ子委員

ふるさと学習は小学校も中学校もやってもらえるのか。学生が地元の町名も知らない。子どもたちはふるさとへの愛着心がないことにショックを受けた。ふるさと学習の機会を増やしてほしい。

▲湯井課長

アートまちかどは、階段昇降機を椅子式のものを設置する。地元作家の発掘も頑張っている。

▲宮坂課長

コロナ禍の事業展開について見直している。ワクチン接種が進んでいること、コロナウイルスが弱毒化しているのではないか、ということ considering、できることはやる、開けられるものは開けるという方向で考えている。

▲小松教育長

学校関係の学級閉鎖については、千曲市は国基準の対応（学級に複数感染者で閉鎖）をしてきた。今後もその方向。

(6) に関すること

○中島委員

すべての施設の評価がすべてB。秀でていればBとか、Cに近いBとかがあればここだけで教えてほしい。

管理している人が、「施設の使い方がわからない。」と言う、ということが聞こえてくる。設備の使い方、備品がどこにあるなどは、適正に管理してほしいという声を聞いたことがある。

▲町田スポーツ振興課長

窓口業務において差異が生じることもあり、Cに近いBなどもあるかもしれない。

(7) に関すること

○小林いせ子委員

主任児童委員として青少年部会でこの家庭教育支援条例についてパンフレット1枚で出前講座してもらった。報告書のようなことをそちらでも説明してもらえば、児童委員もありがたい。要請があったら説明してもらえるか。

▲宮坂生涯学習課長

6月議会に報告すると、一般の方にも見てもらえる。今後の説明についても要望に沿えるようにしたい。